

豊田中学区新設小中一貫校についてのお知らせ

平成30年11月 第10号

小中一貫校（豊田中学区）推進委員会



小中一貫校（豊田中学区）推進委員会は、自治会の代表の皆様、PTAの皆様、学校評議員・学校運営協議会委員の皆様、関係校の校長で組織しております。

平成26年度に本委員会が立ち上がり、豊田中学区新設小中一貫校の校舎等の施設のあり方について協議検討を重ね、平成29年3月に「小山市豊田地区新設小中一貫校基本計画」を策定いたしました。なお、開校時期は、今年3月の「お知らせ」でもご説明させていただきましたとおり、当初の計画から『1年』遅らせ、2022年4月となります。

●第20回推進委員会の結果概要

20回目となる平成30年度の1回目の会議が、8月30日（木）、豊田公民館の研修室において開催されました。

今回は当委員会の会長・副会長を選出し、これまでの検討経緯、開校までの全体スケジュール、今後の検討体制・検討項目、小山市における小中一貫教育と豊田中学区での取組などについて、説明や確認、協議を行いました。

内容につきましては、下記及び裏面をご覧ください。



○これまでの検討経緯

はじめに、豊田中学区の小中一貫校の推進に向けた検討事項について全体で振り返りを行いました。豊田中学区では、平成26年度に当推進委員会が発足し、小中一貫校として学区の小学校の統合を見据え、具体化に必要な課題や方向性を検討してきました。そして、平成28年度、地域の意向を取り入れながら、施設整備の指針となる「小山市豊田地区新設小中一貫校基本計画」を策定し、平成29年度には、豊田中学校の北東部、中学校の隣接地に学校用地を取得しました。

○今後のスケジュール及び検討体制・検討項目

今年度は、必要な手続きが済み次第、土地の造成工事を実施し、整地を行う予定です。続く平成31（2019）年度に校舎や体育館等の設計を行い、翌2020年度からの2年間で建設工事、外構工事を行い、内装の整備、引越しを経て、2022年4月に開校を迎えます。その間、通学路、学校名、校歌、校章、使用する備品など様々なことを検討してまいります。なお、統合により、通学区域は今以上に広がることから、スクールバスの運行を予定しています。運行の範囲やルートは、地域の皆様と、今後、協議を進めてまいります。通学路につきましては、地域の意見を伺いながら、現在の通学路を活用しつつ、安全確保に伴う整備が必要になることがあるため、関係部署・機関と連携し、早めに対策を講じてまいります。



当小中一貫校（豊田中学区）推進委員会と市（市役所）、教育委員会、学校、そして、これから設置される準備委員会などが協力し、地域の声に耳を傾けながら検討を進めてまいります。なお、昨年度から豊田南小と豊田北小のPTAでは、両校の統合に向けた委員会を組織し、準備を開始しています。

○小山市における小中一貫教育と豊田中学区での取組



小中一貫教育とは、小中学校が「どんな子どもを育てるか」という『目指す子ども像』を共有し、義務教育の9年間を通じた教育課程を編成し、体系的な教育を目指す取組です。小山市では、学びや育ちを『つなぐ』、指導を『そろえる』、みんなが『つどう』の、『つなぐ』『そろえる』『つどう』の3つをキーワードとした『小山市型小中一貫教育』を推進しています。

豊田中学区においても、学区の教職員、家庭、地域の協力の下、特色を生かしながら魅力的な小中一貫教育を実践しています。豊田地区小中一貫教育では、『自分の思いを伝えられる子』、『お互いに協力できる子』、『目標を持ち、最後までやり抜く子』を「目指す子ども像」としています。具体的には、運動会や学校祭などの学校行事で、小学校間、小・中学校間で、子どもたちが交流しています。6月には、今年初めて小中合同でのボランティア活動を行い、地域の美化に励みました。中学校の先生による算数の乗り入れ授業も行っています。また、教職員も合同研修会を通して、小中一貫教育の充実に向けて取り組んでいます。

なお、豊田中学区では、定期的に「豊田っ子」という“おたより”を発行し、小中一貫教育の取組を地域の皆さまにお知らせしておりますので、ぜひご覧ください。



★このたびの豊田地区の新設小学校は、木をふんだんに使った学校となる計画です。地域の豊かな自然に調和し、木の温もり（ぬくもり）によって、子どもたちの心、健康、学習に効果が得られると期待しています。★

●このたびの推進委員会での主な意見と回答

推進委員のご質問・ご意見等	事務局回答
学校の整備計画地の用地の取得状況について。用地の東にある残土の山は、整備計画地に入っているのか。	整備計画の事業用地につきましては、平成29年度に無事に取得を完了しております。 残土の山につきましては、市道を隔てて東に位置しており、整備計画地からは除かれております。
本推進委員会において、先進となる小中一貫校のモデル校の視察研修を実施してはどうか。	市においては、昨年度に絹義務教育学校が開校し、小中一貫教育を推進しているところです。また、市外でも、モデルとなる事例がありますので、それらを対象とし、視察研修ができるよう、計画していきたいと考えております。

●推進委員会からのお知らせ

当委員会では、これまでの委員会の結果概要を、市ホームページにて公表しております。
<http://www.city.oyama.tochigi.jp/site/kyoikuinkai/2592.html> の URL で閲覧できます。『小山市教育委員会』と検索し、『学校適正配置・小中一貫教育』から 豊田中学区の小中一貫校 に進むこともできます。



この お知らせ（会報） は、豊田中学区にお住まいの方を対象に配布しております。

※配布は自治会単位のため、豊田中学区外の方へ届く場合がありますがご了承ください。